

## 議会閉会中の委員会活動

### 産業建設委員会

#### 議員研修会 ● まちの経済循環とネットワーク ～コロナ問題を踏まえた地域振興のあり方～

令和2年 11月18日

岡山大学 経済学部 特任教授 ● 中村 良平 氏

#### 研修内容

- ・新型コロナウイルスによる影響が長期化することで、人々の行動様式に変容をもたらし、対面サービス産業や閉鎖空間での業態、移動を伴う業種が厳しい状況となる。一方、仕事の仕方が変わること、都市部で一極集中する人材に分散化が生じ、地方において人材を確保できる機会が広がるなど、千載一遇のチャンスとなる可能性がある。
- ・インバウンドに依存した地方の観光戦略も地域振興のあり方も、コロナ禍を機に発想を地域循環型に変える必要がある。今後、高山市が得意とする観光産業に特化した政策だけではなく、地方移住の政策を結びつけるなど+αの広がりを持たせた政策が必要。
- ・市内におけるお金の循環という観点で自給率を見ると、サービス関係では卸売業の自給率が高くないため、地場産品を積極的に市外に売り出す地域の卸機能の充実が望まれる。
- ・高山市の一部の業種では付加価値率が非常に低いため、AIやITといった先進技術の活用などにより生産性を上げていく必要がある。

### 議員定数及び報酬に関する特別委員会

令和2年9月に「議員定数及び報酬に関する特別委員会」を設置し、日本一広大な市域を有する高山市における議員定数のあるべき姿を調査研究し、市民の皆様にご丁寧に説明していきなご、共有できる定数や報酬等を導き出していくこととしています。

- 特別委員会の分科会として各常任委員会を位置づけ、議員間の意識レベルの温度差を縮める研修も重ねるなかで、拙速な結論に走らないよう全議員の考え方をじっくり聞きつつ議論を進めています。

#### 議論を進める上での視点

##### ①議会機能からの視点：「議会の役割とは何か？」住民代表機能・行政監視機能・政策立案機能

市民の代弁者として皆さんの声を市政に反映するため、情報や課題を共有するとともに、市政の執行を監視し、責任ある意思決定を行うための合意形成に向けた議員間討論、政策水準の向上のための政策提言など、議会機能の視点から議論します。

##### ②議会改革度からの視点：「定数を減らせば少数精鋭になるか？」

議会改革は、効率性を求める行政改革とは視点が違うため、単に定数削減することが改革だとは考えていません。市民の利益に資するための情報共有・住民参画・情報発信など、「どう責務を果たすのか」「次期の議会をどうしていくのか」「議会機能向上のために何をすべきか」について、専門的知見も活用して議論します。

##### ③地方分権からの視点：「議会が弱体化すれば地方自治の基盤は揺らぐ」

日本一広く、かつ分散型の市域を有する市のなかで、支所地域にも質の高い行政サービスが行き届くよう、「地方分権に順応できる議会」を意識し、合併についての検証・支所地域の振興など、地域課題に向き合う議論を通じて合意形成や議会機能が発揮できる体制や議会構成などの視点から議論します。

##### ④市民参画からの視点：「より市民に開かれた議会に」

「議員＝遠い存在」ではなく、住民代表として多様化する市民ニーズを的確に捉え、市政に反映するための情報公開と情報共有・モニター制度やシンポジウムなどに取り組むなかで、なり手不足や若者や女性の意見の反映のための環境整備の視点についても議論します。